

リオナ[®]による貧血検査項目への影響

五仁会 元町HDクリニック 臨床検査部¹⁾ 同 内科²⁾

安岡 真紀¹⁾、田中 和弘¹⁾、清水 康¹⁾、申曾洙²⁾

兵庫県透析従事者研究会 COI 開示

筆頭発表者名： 安岡 真紀

本演題発表に関連し、開示すべきCOI 関係にある
企業などはありません。

《目的》

リン吸着薬 リオナ[®]は、成分であるクエン酸第二鉄による貧血改善効果が多く報告されている

われわれは、リオナ[®]の使用により貧血検査の結果がどのように変化したのかを調べたので報告する

《方法》

(対象者)

リオナ[®]を6ヶ月間以上継続して服薬し、且つ鉄剤を併用使用していない維持透析患者34名(男性25名、女性9名)

(観察期間)

投与前3ヶ月から投与後6ヶ月(リオナ[®]使用量:250~3000mg/day)

(観察検査項目)

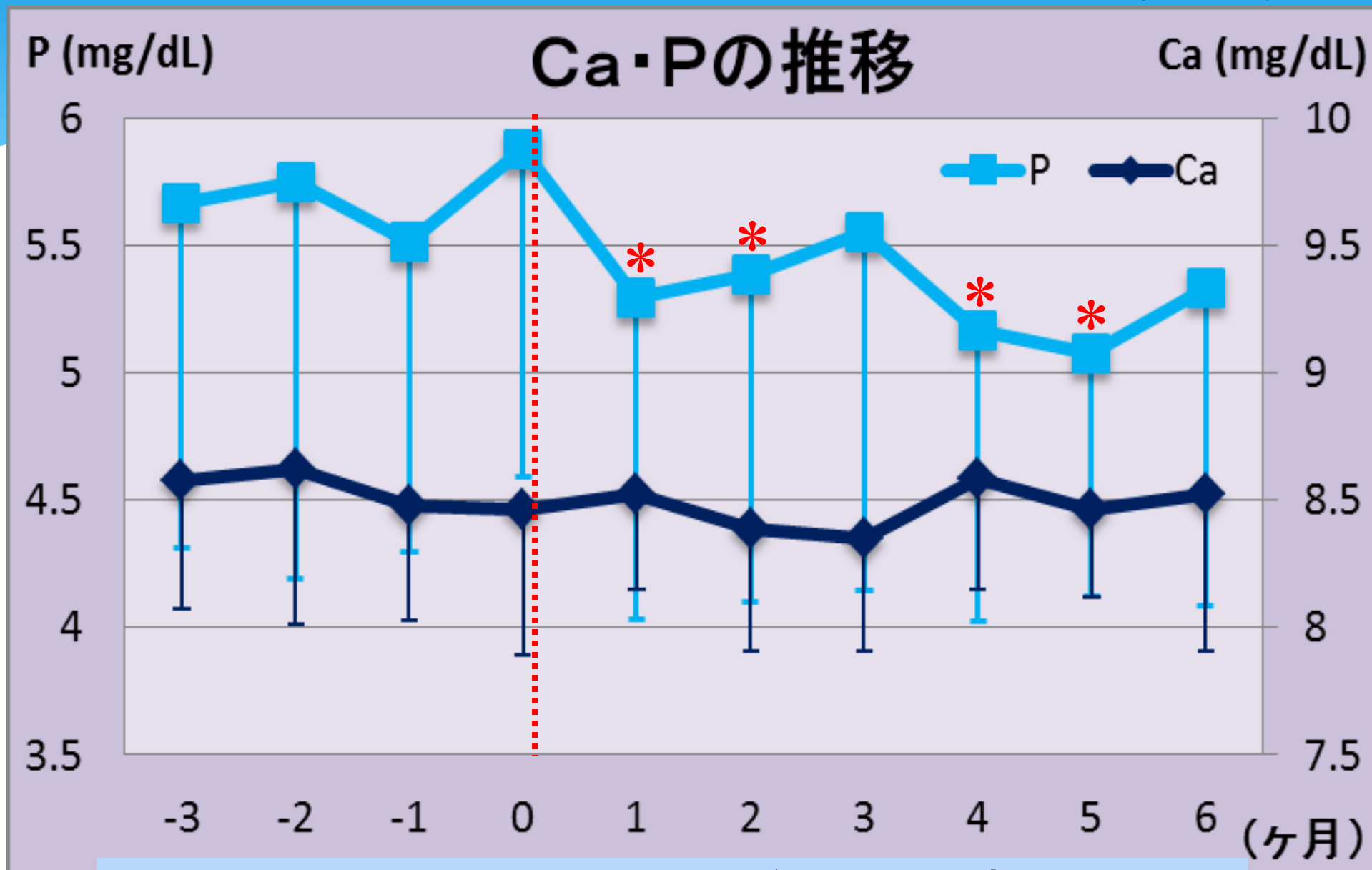
赤血球数(RBC)、ヘモグロビン(Hb)、網状赤血球(Ret)、赤血球恒数(MCV、MCH、MCHC)、鉄(Fe)、総鉄結合能(TIBC)、トランスフェリン飽和率(TSAT)、フェリチン、カルシウム(Ca)、無機リン(P)

◎投与開始月(0ヶ月)を基準にpaired-t検定にて5%未満を有意差ありとした

倫理的配慮:本研究は、患者負担が生じないよう、過去の定期検査にて得られたデータのみを用い、患者が特定されないよう配慮した後ろ向き研究である

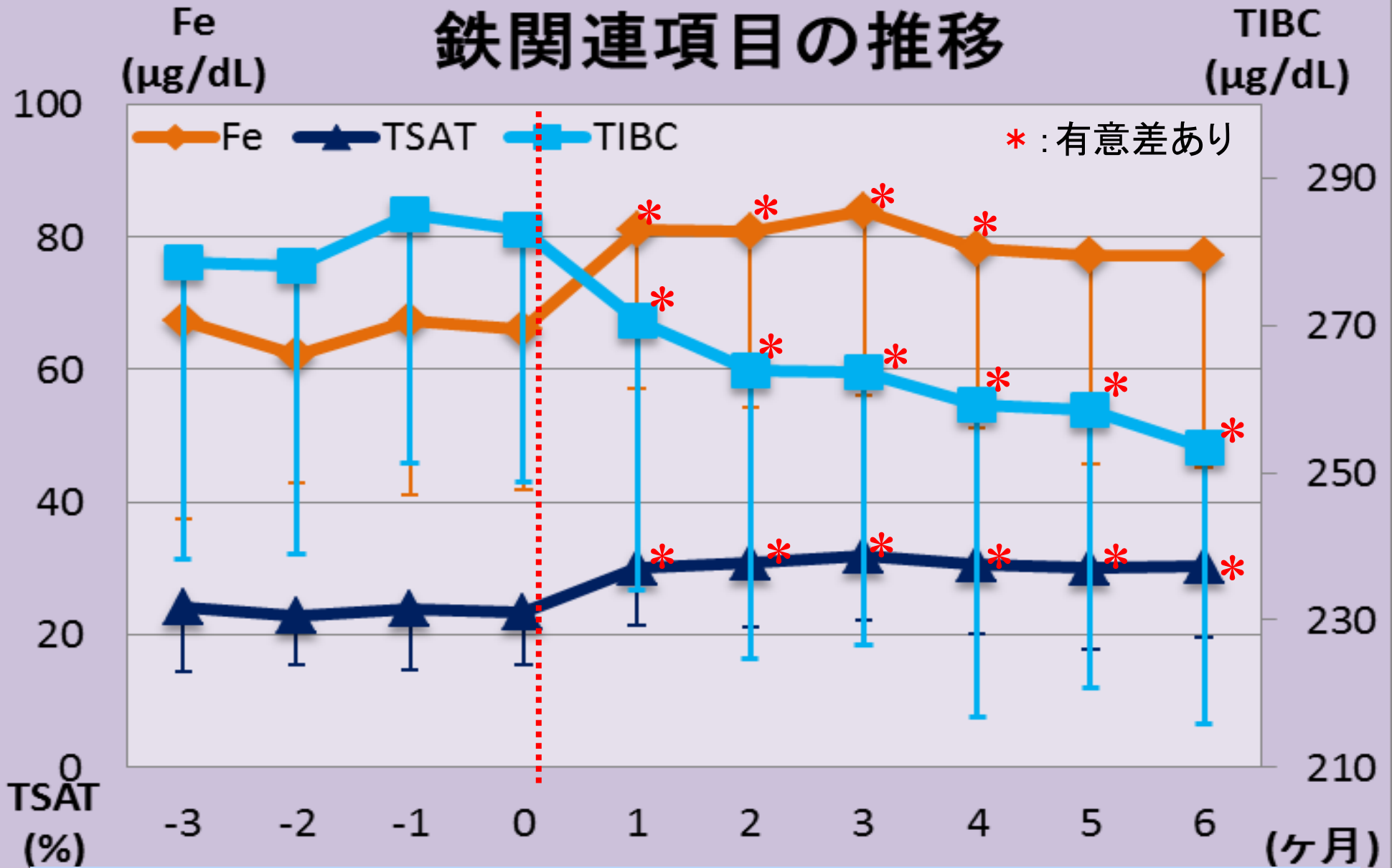
《結果・考察》

* : 有意差あり



リオナ®によるリン吸着効果があったと考えられた

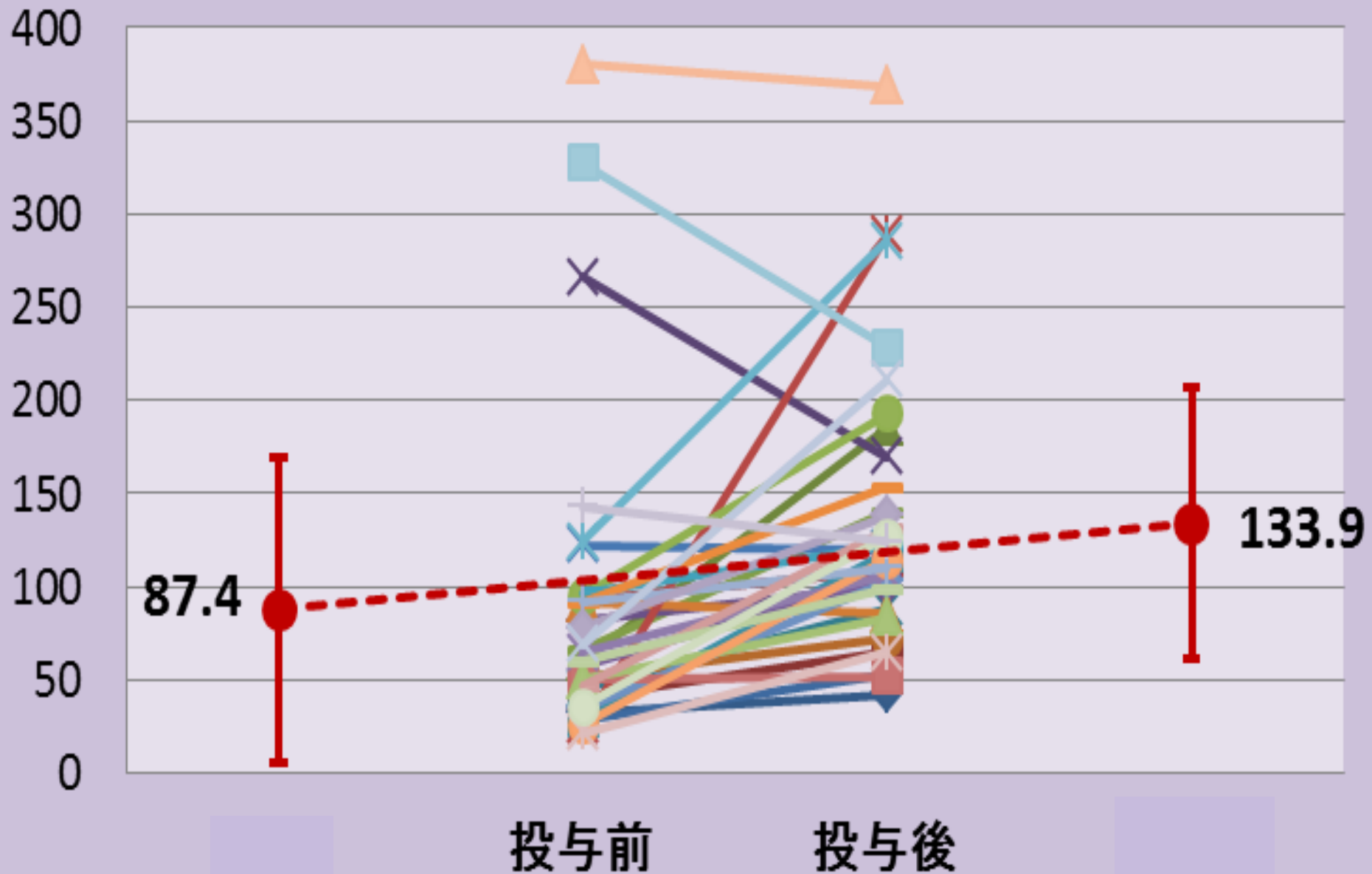
鉄関連項目の推移



リオナ®の成分であるクエン酸第二鉄が鉄代謝に継続的に有効利用されているものと考えられた

(ng/mL)

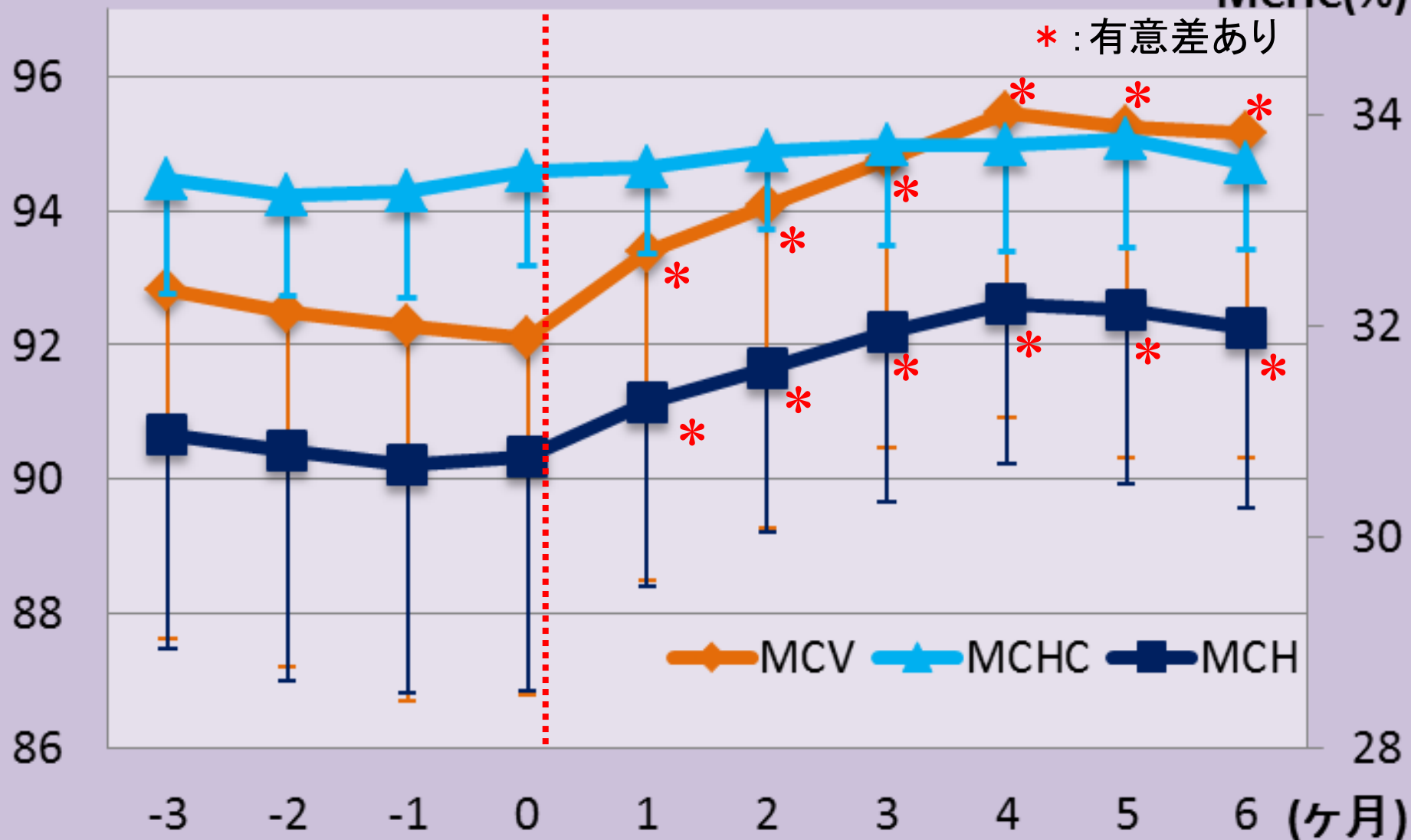
フェリチン



MCV (fL)

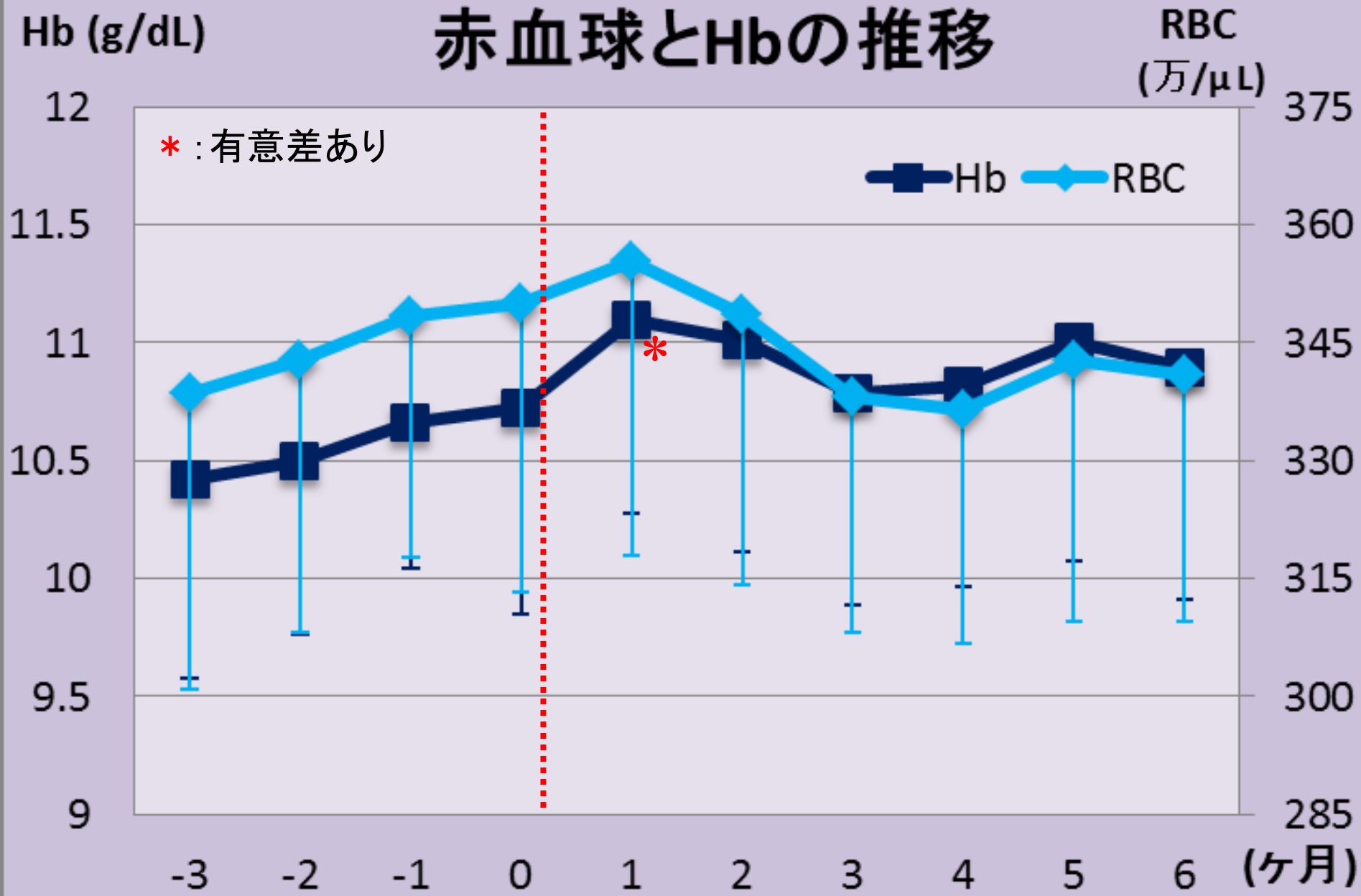
赤血球恒数の推移

MCH (pg)
MCHC(%)



鉄代謝の改善と共に、赤血球の質の指標であるMCV・MCHも改善し鉄が赤血球造血に対して有効的に利用されている結果と考えられる

赤血球とHbの推移



Hbが若干の上昇にとどまった点については、Hb量は赤血球数にも依存するため赤血球と連動して増減したためと考えられた

《結論》

リオナ[®]の投与により、血清鉄・フェリチンが大きく上昇することなく、TSATの上昇を維持し、赤血球の質(MCV, MCH)を改善させた